

お客さまに安心を 対策用無線システム

災害対策

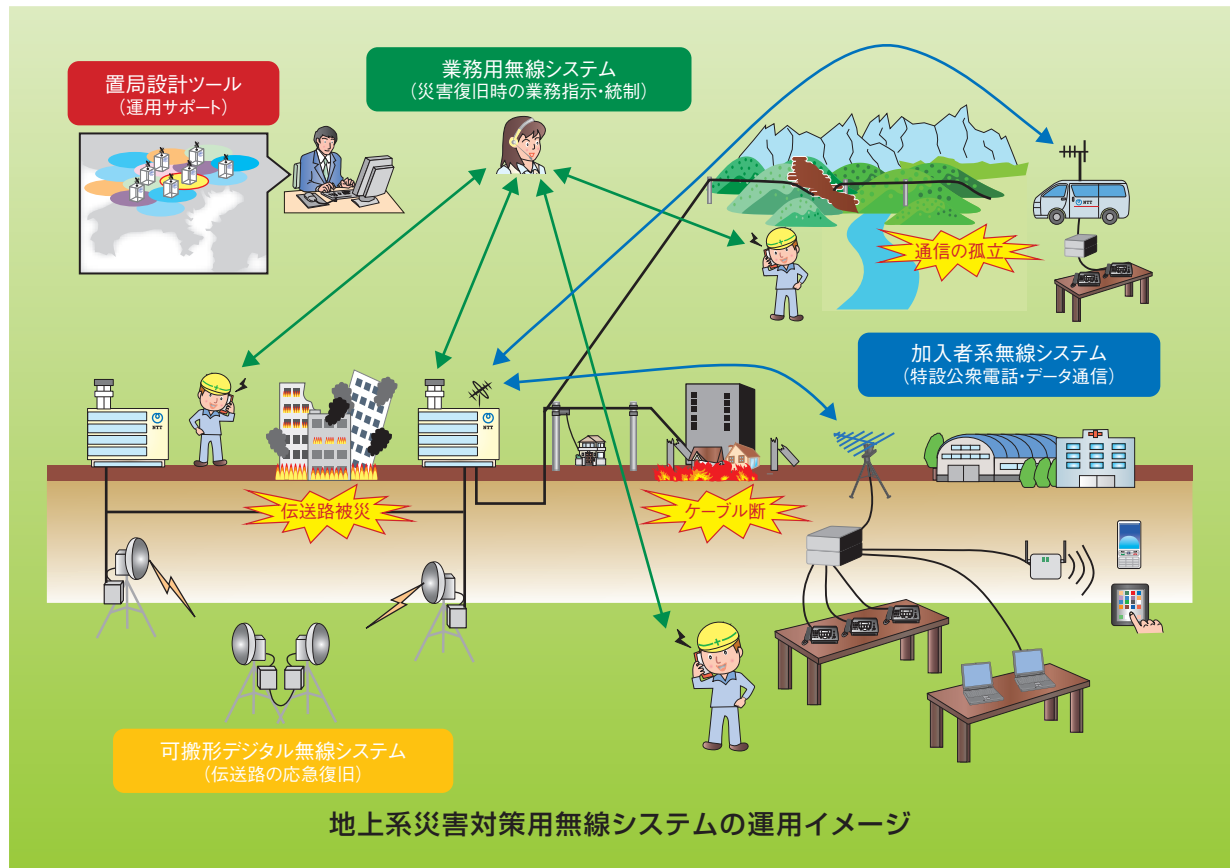
無線システム

中継

加入

業務用

NTTグループでは、災害対策にかかわる基本方針のもと「ネットワークの信頼性向上」「重要通信の確保」「サービスの早期復旧」を柱として大規模災害に備えている。NTTアクセスサービスシステム研究所では東日本大震災発生以降、新たな災害対策用無線システムの研究開発に取り組んでいる。これまで開発された無線システムを東西事業会社が活用することによって、通信サービスの早期復旧と通信孤立の早期解消を強化することが可能となった。本特集では、南海トラフ地震や首都圏直下地震等の広域災害によって引き起こされる、広範囲な通信設備の被災の復旧を目的として開発した地上系災害対策用無線システム、および無線システムの運用をサポートする置局設計ツールについて紹介する。



届ける地上系災害 の実用化

■ 長距離化と小形軽量化を両立した災害対策用可搬形 デジタル無線システムの開発

44

最大伝搬距離20 kmを実現し、分割して人手で運搬できるレベルに小型軽量化しつつ、600 Mbit/sの大容量で中継伝送路の救済に利用可能な無線システム「11/15P-150M-N」を紹介する。

■ 他社網に依存しない安定した連絡手段を提供する 業務用無線システムの開発

47

トランシーバによる音声通話に加え、位置情報管理機能を付加することで効率良く事業者との連絡を可能にし、NTT地域社内網のみでネットワークを構成する社内連絡用の無線システム「TZ-161A」を紹介する。

■ お客さまに安心・安全を届ける災害対策用加入者系無線システムの開発

50

400 MHz帯の無線周波数を用いることでNTT通信ビルと見通しのない避難所等でも特設公衆電話やインターネット接続サービスを提供することが可能な無線システム「TZ-403D」を紹介する。

■ 災害対策用無線システムの運用をサポートする置局設計ツールの開発

54

無線置局設計に関する知識や経験がなくても、無線装置の最適な設置場所となるNTT通信ビルの選定を可能とするツール（ソフトウェア）を紹介する。